

ピカッと草津

「地域助け愛応援駐車場」

運用 始まる

「ピカッと草津」で取り組まれてきた在宅サービス時の駐車場問題の解消に向けて「地域助け愛応援駐車場」の運用が始まりました。地域の団体や個人宅で「〇〇止めても良いよ」と登録いただいた情報を事業所（当面は、山田学区医療福祉を考える会議に参加されている事業所に限定）に開示し、所定の手続きをして利用できるようになりました。



医療福祉を考える会議
・世話人会では、運用開始に先立って、登録いただいた駐車場提供者を個別に訪問し、お礼と運用ルールの説明をしてきました。

駐車場の情報は、イン

山田学区
社協だより

第 85 号
発行
山田学区
社会福祉協議会

ターネット上で

閲覧（閲覧は、

世話人会の認証

が必要）出来るようにしました。

スタートしたばかりで、様々な課題がでてくると思いますが、住民の皆様や事業所の方々と連携して住んで良かったと言われる山田学区づくりを進めたいと決意を新たにしています。

《世話人会》

《世話人会》は、市役所、松原地域包括センター、市社協、学区社協を中心に、時々課題の関係者で構成されます。

令和 7 年度 学区社協総会 《報告》

4 月 19 日、まちづくりセンターで、山田学区社会福祉協議会の総会が開催されました。顧問の藤井美恵子市議、横江政則市議はじめ参与のご臨席の中で開催されました。評議員・横江恵子さんを議長に



出屋敷会館前の掲示

選出し、令和 6 年度事業報告と決算報告および監査報告、役員改選、令和 7 年度の事業計画および予算の審議がおこなわれ、原案通り可決されました。

令和 7 年度 本部役員（任期 2 年）

会長 中瀬 清美

副会長 大原 友代

久泉 次郎

吉岡 孝治

会計 園田 明美

事務局長 駒井 徳蔵

事務局員 武村 こころ

監事 日山 明子

岸本 明廣

（敬称略）



ひろがれ やまだの 和・環・話

～ ひとと人のつながりを求めて ～

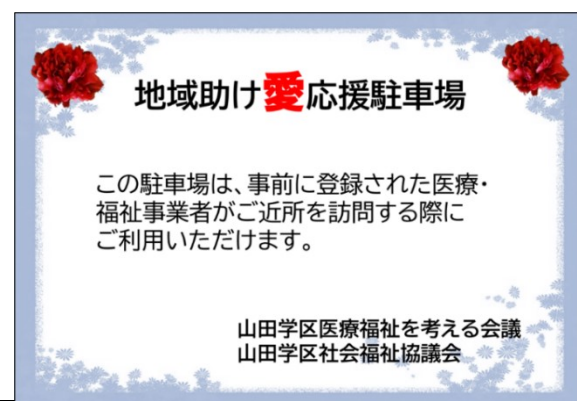


ピカツと草津



三月七日、えん
ゆうの郷で「ピカ
ツと草津」（第2
6回山田学区医療
福祉を考える会議
が開催されました。
高齢化が進む中
で在宅医療・介護
の利用者が増加す

駐車場リストが贈呈
されました。
最後に参加者全員で
桜の花びらに感想と
これからの課題や思
いを書き綴り写真の
ような満開の桜の木
になりました。
この取り組みはこ
れから本番です、



ココ止めて
もいいよ！

参加者の感想

誰もが年若い、皆さんのお世話に
なる時が来ます。

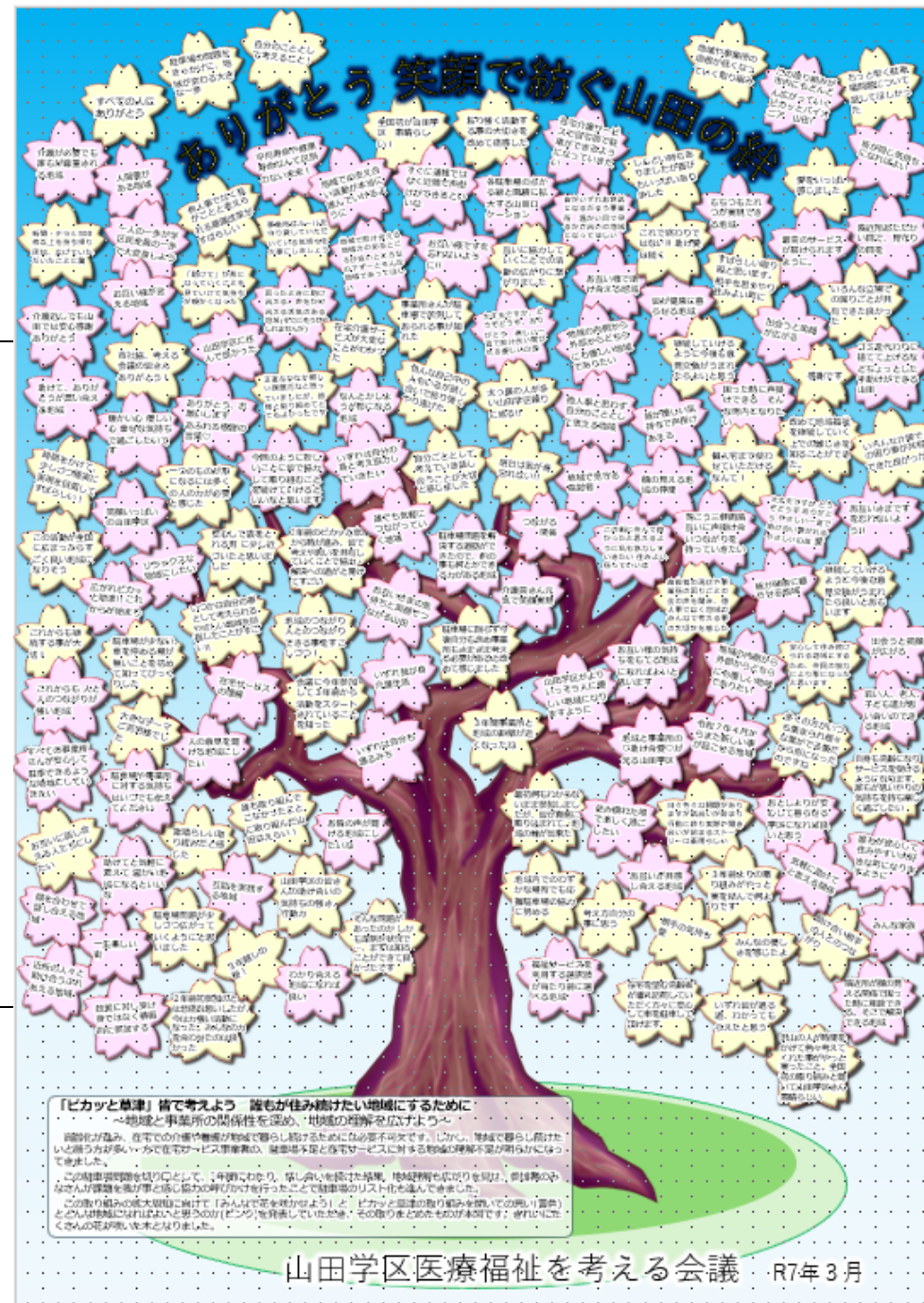
市社協、学区社協、医療・福祉関
係、そして地域の皆さんと、高齢
者宅への訪問時の駐車場確保につい
て、三年間話し合って参りました。

「訪問する高齢者宅に駐車できない」

「道路が狭くて、歩いて訪問宅までは遠すぎる
」
「道路の端に駐車していたら、駐車違反になっ
た」等々、様々な問題が出されました。

気持ちよく訪問して頂くには、我々住民がどうすれ
ばよいか？

る傾向にあります。医療福祉を考える会議は3年前
の第23回会議で、在宅
ケアサービスの事業所ア
ンケートや直接話を聞き
学区内において訪問時の
車の駐車場確保に困って
いる現状を知ることから
取り組みを始めました
学区内の町会長や様々
な団体からご参加をいた
だき、この駐車場問題を
切り口に在宅医療・介護
を受ける側として、「我
がこととしてとらえ、何
ができるか」を考えてき
ました。



山田学区医療福祉を考える会議 R7年3月

テーブルを囲み、意見交換
をしていく中で、個人宅の
駐車場や自治会館の駐車場
を「どうぞ、使ってください
」とあたたかい思いやりの
言葉を頂き「地域助け愛
援駐車場」がスタートしま
した。会議の締め括りには
、皆さんで桜の花びらの用
紙に想いを書き、大きな木
の幹が描かれた用紙に貼り
付け、満開の桜の木が完成
しました。ご協力頂いた
多くの皆さまに、厚く御礼

参加者 T・Tさん

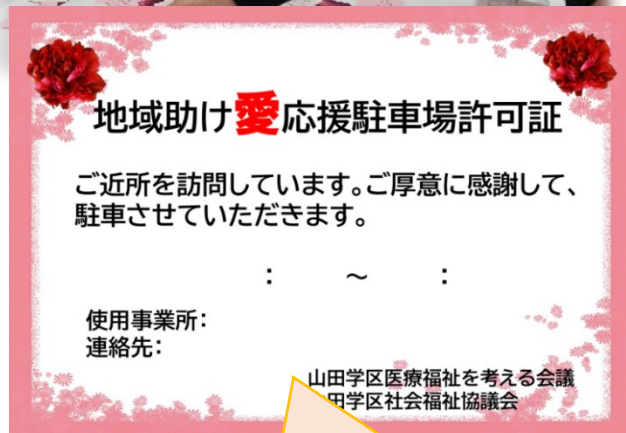
申し上げます。

山田学区医療福祉を考える会議は、このようなリ
ストが無くて、事業所さんが在宅ケアに集中でき、
お隣同士が理解し支え合い、安心して暮らせる地域
づくりを目指したいと考えています。

いいことで、「何で我々が」との声も上がりました。
事業所の方々との交流を重ねる中で、理解も徐々に
広がり始めてきました。他人ごとではなく我がこと
としてとらえ、地域内で駐車可能な所や住民にお願
いして駐車スペースの確保をしようとの機運が高ま
ってきました。

今年2月末で、学区内28ヶ所の団体
や個人宅で駐車しても良いよと名乗って
いただいています。

この日の医療福祉を考える会議では、
この会議に参加されている事業所に、こ
の駐車場情報を公開し、利用にあたって
のルールを確認しました。学区社協の中
瀬清美会長から、事業所を代表して居宅
介護支援事業所きららの村瀬美貴さんに



止めさせて頂きます！



北山田

北山田ふれあいサロン



北山田ふれあいサロンは、令和七年で十五年目を迎えています。毎週火曜日の午前、北山田会館で、六十五歳以上の十数名の皆さん（最高年齢九十四歳）が、「NHK みんなの体操」のあと、いきいき百歳体操」と「口から

らこんにちは体操」を行っています。

月一回は、体操の後、「楽しい語らい・ティータイムの時間」と名付けて、スタッフの皆さんが計画して、町内の健康推進委員などによる健康や生活のために話をする会を開いたり、

ボランティアの方による多彩な芸や音楽、踊りなどを観賞したり、一緒に歌を唄ったりして、楽しいひとときを過ごしています。

今後も、参加メンバーの皆さんのご意見も伺って



内容を充実していく予定です。

サロンに毎週参加することで仲間の皆さんとおしゃべりし笑い合い、体力の維持向上や日々の生活に張りや潤いを感じて、楽しく通い続けられる憩いの場となっています。

北山田ふれあいサロン代表 田淵敏男

山田学区の地域サロン紹介

なごみ会

出屋敷団地

なごみの会の歴史は、平成十六年当時の

町会長が、これからの町内会の二十年後の

高齢化率を鑑み、高齢者の地域サロンが必要不可欠と判断され出屋敷団地町内会総会で承認を得て、発足した組織です。

モットーは「高齢者の高齢者による高齢者のための組織」の地域サロンで、町内会に頼らず運営することを基盤としています。歳をとっても健康に、仲間



づくりで研鑽を心掛け、社会の参画を実践し、価値観を共有することで家での閑じこもりを無くし、励ましあい、澁刺とした人生を送ることを目的としています。当時の世話人は、男子

三名女子三名、会員（70歳から75歳）二十三名

で発足し、現在に至っています。なごみの会

の活動として、年二回春・秋の市福祉バスを利

用した日帰り旅行では、滋賀県の名所旧跡巡り

や竹生島参拝、三井寺・西教寺参詣の実施で教

養を高めてもらいました。また、グラウンドゴルフ

大会では、気分転換と心の晴れる会話、笑顔あふれ

る食事会の場づくりに努

めて活動しています。

平成二十三年から女性世

話人に、百歳体操のサポ

ーターの資格を取っても

らい、毎週月曜日に月四

回実施しています。

なごみ会代表

橋本 峯治

